

渡部昇一 霊言 コロナ問題と自序論を語る (2020年5月25日収録)担当:石田昭 2020年6月21日

1 **第一章**(2年前):蔵書の収集、執着だった。(第2章で「大川先生の本だけ読んでればいい」)
2 谷沢永一の蔵書もガラクタの山、彼は「人生の8割が無駄だった」と述べている。堺屋太一は「これから篩い分けがくる。気付かないと忠告も無駄。9割の人はこの世感覚だ。
3B.フランクリンは、双子が家に住んでる感じ、在原業平は「離れて育った従兄弟」の感じ。
4 地上への靈感は総裁には届くが、質問者(斉藤)には1%程度、この世の人間で反応しない。
5 霊的に低い情報は届かない。編集人の脚注など、消えている。上に行ってる本もあるが、「貴方には関係ないでしょ」と言われる。地上では全て読める状態で、すごいことなんだ。
6 仏陀とイエスが(菩薩界に)教えに降りてきたのは見た経験がある。大講演会的じゃない。
7 カント、ヘーゲルは理解不可。哲学者は信仰心が薄く、情感が涸れて批判されている。
8 自由には責任が伴うことまで考えて生きる人が少ない。基本的には「何勝何敗?」の世界。それで、「カルマ」という宿題を残し、解決の機会ができたときに生まれ変わってくる。
9 人それぞれの100点がある。ターニングポイントがあるが、勤勉でないと100点を取る機会を逃す。上智はボロ大学だが、そこで頑張った。「幸運の女神」の前髪を逃す人が多い。
10 多才も良いが、一つの専門を大切に、成功体験を積むこと。それが、勇気の拡大再生産になる。「勉強家で徳がない」のは理解できない。「知的消化力」だ。「知欲餓鬼」鈴木正三
11 霊言は四大聖人も不可能だった。霊人を理解できるという、器の大きさを意味している。
12 **第2章**(本年5月)今回の人生は古本屋のおやじ並だと知った。見方が逆転し、「地上の世界があの子」に見える。あの世では認識力が同程度のものが集まる神仕組みがある。
13 日本のマスコミは習近平の「野望・野心の塊」が見えていない。左翼系の人には、中国が「心の母国」、「理想国家」のように見えている。中国の上から目線による洗脳。漢字、儒教、仏教を教えてやった。参考:シヴァ神の霊言、中国人の優位性を「一刀両断」にする英雄が日本に必要。
14 霊界には「世界の歴史が観える星座館」があって、その時の神の意図なども解説される。
15 コロナは中国製だ、中国は嘘をつく。中華を離れた日本流の発展・反映を選ぶべき。中国は大きな経済圏で日本取り込み“省化”する。防衛の観点からアジアに日本語教育が必要。
16 ウイグル弾圧などでアメリカの方向転換が明確になった。共産主義の良い面も持っている日本が世界のバランス役となりローマ法王に代わって橋をかける。それがHSの仕事。
17 検事総長問題は嫉妬社会の兆候、「フランス革命ギロチン」が始まる予感。イメージだけで判断する風潮(緑とか)、日本式民主主義は独裁者を生む可能性がある。(小池ゆり子物語)
18 一体一路戦略は崩壊の危機にある(共産党内の不協和音激化・李克強首相辞表提出:鳴霞情報)
19 中国を発展させたのはアメリカと日本の力が大きい(ニクソン以後のキッシンジャー外交)天安門直後に平成天皇の訪中で、“最恵国待遇”扱いした後、復興が早くなった。大失敗
20 欧米がしばらくは文明を引っ張るべし、社会福祉思想じゃなく「自序論」による自立国家が大切。ポスト・コロナは闇市経済だ。統制の目をかいくぐってでも生き抜く戦いが必要。
21 大中華思想はもういい。九月入学制度はすり替え論で、中国化に過ぎない。(米国留学を拒否される中国の留学生の便宜?)信仰心欠如の海外教育は無意味。あの世はあるから、今の科学者は無知だ。「宇宙人」の研究も重要。日本のレベルが上がった。学ぶものは語学だけだ。アメリカだけは唯一少し上。「未来は幸福の科学にあり」世界の大学ランキングも無意味?
22 総裁は腰が低い(総裁補佐)・・・志が大きな人は、本当は巨象のように歩いているのだが、自分の実績が小さく見えて、蟻のように見える(観られる)。救世主の100点は菩薩と違う。